



発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



会員増強検討委員会による料理と食事会

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号  
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272  
 ホームページ [昭島市シルバー人材センター](#)

|   |      |      |        |
|---|------|------|--------|
| <b>会員数</b><br><small>(平成31年3月18日現在)</small> | 男性   | 女性   | 合計     |
|   | 789人 | 311人 | 1,100人 |

# 第9回定時総会 開催のお知らせ



**日時** 6月13日(木) 午後2時

**場所** KOTORI ホール  
(昭島市民会館) 大ホール

会員皆様の参加が次なる飛躍への原動力となります!!  
より多くの方の出席をお待ちします

平成30年度

## 第2回理事・地域班長全体会議が開催される!

3月8日、市民交流センターにて、平成30年度第2回理事・地域班長全体会議が開催されました。当日は理事16名、地域班長43名が出席し、さらに黒岩伊藤両顧問の出席を頂き、渡邊理事の司会で進行されました。

1. 最初に、光富会長からのあいさつがあり、第二次中期計画が2年目終了期に入っており、これを確実に実現するために、会員増強と就業機会の拡大に努め、新規事業を開拓し、安全就業を確保しつつ、力強く推進していく方針が述べられました。

2. 奥村常務理事からは、当センターの事業実績、会員数の推移等について具体的な現況報告があり、女性会員の増加を含めた会員数の増加実績が報告されました。また、未就業会員への対応を継続的に実施するとともに、当センターのPR活動の推進と協力をお願いがありました。

3. 作業部会・委員会の活動内容報告  
総務部会：第二次中期計画2年目の実

績としては、ほぼ達成しております。会員表彰は今後とも推進し、入会受付の辞退者を減らす対策について検討していきます。

事業部会：お客様に対するマナーがセンター発展のために重要であり、接遇研修を積極的に行います。就業相談の活性化、企業訪問数の増加も目指します。

広報委員会：会報いずみ(年4回)を発行し、会員数増加のためのPR号を作成し全戸に配布します。また、昨年の産業まつりでは、新たにスーパーボールすくいを行い、PR活動に厚みをもたせました。

安全管理委員会：今年も「安全は全てに優先する」を基本に、「安全たより」(12月号)を

発行するとともに安全就業に関する各種講習会を実施しています。

4. 最後に、意見交換が行われ、閉会となりました。



## 平成30年度 役員研修

第2回理事・地域班長全体会議終了後、引き続き同会場にて、平成30年度役員研修が開催されました。

研修のテーマは、「シルバー人材センターと会員」という内容でした。理事・監事18名、顧問2名、地域班長34名、さらに職群班長等41名も参加しました。講師には全国シルバー人材センター事業協会法律顧問である檜垣直人弁護士をお招きしました。

「はじめに、昭島市シルバー人材センターの会員としての責任と自覚について、説明がありました。私達のシルバー人材センターの名称には「昭島市」と入っている、会員は市民から「市の職員」・「昭島市の関係者」と認識されることもあります。そのため、シルバー人材センターは市民の方々から信用・信頼され仕事の依頼をいただきます。しかしその反面、市民の方々からは厳しい目で見られている部分もあるので、会員は、「シルバー人材センターの評価・信用を下げてはいけない」という責任が生じます。地方のシルバー人材センターでは、シルバー人材センターの信用の失墜によって公益認定の取り消しになっ

た事例もあるとのことでした。会員は就業中や就業途上、制服等を着ているときは、市民から見られているといった自覚を持つことが大切です。

また、会員は「個人事業主」でありシルバー人材センターとの就業契約に基づき仕事をしている、という説明もありました。シルバー人材センターは発注者から依頼された仕事の受ける・受けないを選択でき、同じように会員はセンターから紹介された仕事の受ける・受けないを選択できます。但し、会員はシルバー人材センターからの依頼を受けた場合、責任を持って仕事を行う義務が生じます。責任を持って仕事を行うには、契約に基づいた就業が重要であり、勝手に自分の基準で判断する「自分ルール」を作らず、センターに確認することが大切です。」

その他にも、喫煙モラル等、昔は問題視されなかったことが現代では非常識



になっていくものもあり、時代の流れについていく必要があるとの説明をいただきました。最後に、糟谷副会長の閉会のあいさつで終了しました。

### 2019年度年度会費の 支払い方法について

4月、5月に2,800円を超える就業実績のある方は、配分金から年度会費等(2,800円)を控除させていただきますので、ご了承ください。なお、配分金が2,800円以下の方、もしくは仕事をしていない方は、6月中に年度会費等の納入通知書を郵送いたしますので、その納入通知書を持って、センター指定のコンビニもしくはセンター事務局で年度会費等の納入をお願いします。シルバー派遣のみ就業している方は年度会費等(2,800円)が控除されませんので郵送される納入通知書で納入をお願いします。

## 理事会だより

### 12月定例理事会（12月25日）

#### 議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性7名、女性2名、計9名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について21件延29名の再契約が承認されました。

#### 報告事項より一部抜粋

- ・ 安全管理委員会より「交通安全講習会」の出席者が、前回より10名増の47名だったことが報告されました。また、講習前に「自転車点検の実施があれば良かった」との反省があったことも報告されました。
- ・ 自転車管理班の担当理事より12月に開催された自転車管理班リーダー会議で、就業年齢の上限改訂について議論が交わされ採決の結果、上限年齢は78歳に決定したことが報告されました。

### 1月定例理事会（1月28日）

#### 議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性2名、女性1名、計3名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について24件延38名の再契約が承認されました。

#### 報告事項より一部抜粋

- ・ 総務部会より平成30年度第2回理事・地域班長全体会議及び役員研修の詳細（案）が

報告されました。

- ・ 広報委員会より、平成31年3月発行の全戸配布版「特別PR号」を、従来よりページ数を減らして見やすく、手にとってもらいやすくする狙いで、全4ページ、オールカラーとする報告がありました。

### 2月定例理事会（2月25日）

#### 議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性10名、女性0名、計10名の入会が承認されました。

#### 協議事項より一部抜粋

- ・ 総務部会、事業部会、広報委員会、安全管理委員会より、「平成31年度公益社団法人昭島市シルバー人材センター事業計画（案）」が提出されました。

#### 報告事項より一部抜粋

- ・ 安全管理委員会より、1月30、31日に平成30年度第2回安全就業巡回点検を実施し、植木剪定、放課後子ども教室、学校管理等6箇所を訪問したことが報告されました。



放課子ども教室での安全就業巡回点検の様子

## 第2弾 出張入会説明会を実施！

会員増強検討委員会では、センター内での定期的な入会説明会に加え、地域へ出向き、シルバー人材センターのPRと入会への機会を増やすことを目的に「出張入会説明会」を実施しています。第1回は昭和中地区内東町集会所（昨年10月）にて実施し、10名の方の参加実績がありました。

今回の第2回目は平成31年3月7日午前10時より、西武拝島ハイツ管理事務所内集会所をお借りして、拝島中学校地区内の美堀町を中心に、その周辺にお住まいの方を対象に実施されました。当日の内容は、シルバー人材センターの紹介ビデオ視聴、地区内理事による補足説明、質疑応答、事務局より入会手続きの案内をして終了となりました。6名の参加をいただきました。



# 安全管理委員会からのお知らせ

**自転車利用時にはヘルメットを着用しましょう**

自転車利用時には、ぜひヘルメットを着用してお出かけください。都内シルバー人材センターでは、就業後の帰宅途中で、自転車乗車時に自動車と衝突し、後頭部を打撲。救急搬送されましたが、翌日亡くなるという事故が発生してしまいました。もしヘルメットを着用していれば、頭部が守られ、命が助かったかもしれません。自分の命を守るために、自転車や電動アシスト自転車利用時には積極的にヘルメットを着用しましょう。

**お持ちですか？安全就業ハンドブック**

安全管理委員会で現場の安全就業巡回点検の際に確認していますが、就業中は「会員証」と「安全就業ハンドブック」を携帯するよう説明しています。「安



全就業ハンドブック」には、会員さんが安全に就業するために様々な情報が掲載されています。仕事に就く際にお渡ししています。就業中で「安全就業ハンドブック」をお持ちでない方がいましたら、事務局でお受け取りください。

## 東京しごと財団 平成31年度 安全就業標語決定

テーマ

「作業方法・手順の確認と

ルールの順守徹底」

平成31年度東京しごと財団の安全就業標語募集には、応募者16名から41作品が寄せられました。安全管理委員会で左記の3作品を選出し、東京しごと財団へ推薦しました。

ルール順守と正しい手順で 事故は無し

東町 藤森 睦夫

確認は 転ばぬ先の 杖となる

緑町 戸田 治夫

就業は安全第一に 手順を守り 丁寧に

宮沢町 伊藤 周治

## パトロールボランティア (パト・ボラ) 活動報告

武蔵野小学校編

中神町 織部 伸彦

武蔵野小のパト・ボラは週3回、4人ずつの交代で校門の見守りを行っています。また、11月下旬から新たな見守りポイントでの実施がスタートしました。学校の南側にある、自動車の販売と整備を行っている会社の前です。

学校の南側にある歩道橋を降りてすぐ、自動車を扱っている会社の前はそれなりに交通量も多く、確かにパト・ボラの見守りが必要なポイントです。

その日の担当が校門前に集合し、2組に分かれて校門と会社の前で見守るのが基本。だれがどこを見守るかは、みんなで話し合いをして決めていきます。私の場合、校門前より会社前が多いです。えっ、別に理由はありません。学校前だろうと会社前だろうと小学生の安全を守ることには変わりありません。



新見守りポイントにて

**就業体験記**  
**選挙の年を迎えて**



田中町 石津 照彦

今年も統一地方選挙・参議院選挙が予定される「選挙イヤー」

わたしは、候補

者のポスター掲示前日から投票日までの間、昭島市内151カ所ある掲示ポイントを4つに分けたうちの、中部地区32カ所の監視を担当しています。

午前中に2時間位かけて、いたずら、汚れ（雨の日）、剥がれ等の確認をします。また、すぐに対応できる様にどうきん、両面テープ、画鋏等を持参して業務にあたっています。

昭島は坂が多く広範囲のため、事務局より預かった資料をもとに事前に効率良く廻れるルートを必ず下見しています。雨の日は自転車の視野が狭くなるので交通事故には十分に気を付け



ています。

また、業務中にポスターを見ている市民の方には選挙に行かれる様お声かけもしています。

**職場訪問**

**植木班に初の女性会員誕生!!**

1月の寒い日、とある公園にその女性会員は就業していました。藤田悦子（ちゅうこ）会員です。

この日の作業は藤棚の剪定。ガッチリした体格で、バリバリと仕事している姿を勝手に想像していたのですが、思いのほかほっそりとした佇まいで、剪定された枝をサツサと集めていました。

樹木が好きで、以前から木に携わる仕事がしたいと思っていたそうです。まず、多摩職業能力開発センターの庭園施工管理科で樹木剪定の基礎知識を学び、作業着や道具類も揃え、シルバー人材センターに入会。植木班員になりました。

伸び放題で、雑然とした木が剪定後、すっきりした姿を見るのが好きと言います。

植木班の皆さんは親切に指導してくださり、今楽しく仕事ができていることに

感謝しているそうです。

始めたばかりで、先輩会員から教えてもらいながらの作業ですが、仕事の段取りや剪定の技術も学んでいきたいそうです。一つとして同じ現場がない緊張感と経験に裏付けられた信頼を得られるよう、これからもがんばっていききたいとのこと。

作業チーム内も和む紅一点の存在、女性の仲間が増えてくれるとうれしいとのことでした。



(広報委員会 栗原 輝雄)

# 掲示板

## 「春の接遇研修」

寒い中今年も2月12～14日、18～19日、26日の各午前・午後、計12回接遇研修が行われ総勢406人の出席がありました。取材に伺った14日の研修ではイキイキ・ニコニコ介護予防教室による接客や問題点の対応など講師の詳しい実例・説明でどのようなに円満且つ楽しい内容にするかなどの研



修を受けました。毎回の研修によって就業への責任意識が高まり、より一層の会員の活躍を期待するものです。

## 未就業会員向けの料理と食生活会

1月31日、あいぼくくにて退会抑止の一環として会員増強委員会主催の未就業会員を対象とした料理と食生活会が開かれました。参加者は17名（男性6名、女性11名）と盛況でした。調理室は、非常にきれいで、とても広くゆったりとした感じで進



## 食生活会

められました。新鮮な肉、魚、野菜が豊富に使われ、健康にも気を配った料理が作られました。皆さん、楽しそうに調理し、美味しく試食されていました。最後に事務局から就業案内も行われました。



**「就業相談」の日**  
**毎月第1火曜日**  
 ◇9:30～11:30  
 センター事務所 2階  
 ※担当理事が相談をお受けします

# 編集後記

春は芽吹き季節。草花も桜やチューリップやパンジーなど花を咲かせて彩り鮮やかになります。1989年1月8日から始まりました「平成」も残り少なくなりました。平成最後の「会報いずみ」をお届けいたします。

私たちが生まれ育ってきた激動の昭和が過ぎ、新たに平成となりすでに30年余り。それもあと数日で終えようとしています。平成と言えば私たちの生活面も激動でした。スマートフォンに始まり、今やスマートフォンの全盛、IT化が進み私たちにはついていくのが大変です。5月からは新しい時代が始まります。私たちを取り巻く環境も大きく変化していくこととしようが、自然災害等がなく安全で平和な年であるよう願わずにはいられません。

これからも皆様により良い会報がお届けできるよう努力して参ります。

(山本晴子)



西武拜島ハイツでの出張入会説明会



安全管理委員会による安全就業巡回点検



今年もセンターの桜の花が咲きました



植木班による公園の松の手入れボランティア

### 理事・地域班長全体会議 & 役員研修



## たくさんの新入会員をご紹介して 頂きありがとうございました！

平成30年度は多くのご紹介を頂きまして、誠にありがとうございました。  
平成31年度も引き続きご紹介して頂いた会員の方には粗品をプレゼントいたします。  
友人・知人の方をぜひご紹介ください。  
入会受付時に紹介した会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するように  
お伝えください。

30年度安全就業標語 テーマ：就業途上の安全確保（事故防止）

急ぐほど 遠のく安全 せまる危機